

02 函館いか踊り

市民の誰もが愛し、観光客でも簡単に覚えられるユニークな踊り

有志数人による酒席で花の咲いた話がきっかけとなって、函館の名産品・イカを題材に考案されたオリジナルの踊りです。真夏を彩る函館の一大イベント「函館港まつり」で、1981(昭和56)年に初披露され、ついには1986(昭和60)年にレコード化までされました。その後、港まつりでのパレードの踊り部門に加わり、函館を代表する踊りとしての地位を確立。数回見ていると簡単に覚えられる振り付けで、うまく踊るポイントは照れることなく体全体を使い、心底から楽しむことです。豪華客船の出港時に披露するのは、函館ならではのもてなしです。



問い合わせ先	函館いか踊り実行委・ 吉川久康実行委員長
電話番号	0138-26-3013
FAX番号	0138-26-3013
編成	7~15人
出演時間	1回15~30分 (レクチャー付き)
出演料	30,000円~
備考	出演時間や出演料は 内容により変動します。

《いか踊りの踊り方》

- ① 函館名物いか踊り
 パパンがパンと手拍子を2つ
- ② いか刺し
 いかくし
- ③ 塩から
 かわいく
- ④ いかソーメン
 ゼンゼン!
- ⑤ もひとつおまけに
 パパンがパンと手拍子を2つ
- ⑥ イカポッポ
 2回はねる
- ⑦ イカイカイカ
 「イカ」と言うごとに上体をあげてゆく
- ⑧ イカ踊り
 イカ! 踊り!
(注)イカイカイイカイイカ踊り4回くりかえす



函館いか踊りの振りを紹介するイラスト。函館港まつりの際に製作されるうちわなどに描かれています。歌詞には「イカ刺し」「塩辛」「イカそうめん」「イカぼっぼ」が登場し、料理をイメージ化したユーモアたっぷりの振り付けが、初めて見る人に大きなインパクトを与えます。親近感を抱く市民は年齢を問わず、音楽を聞いただけで自然と体が動き出すような感覚に陥るほどで、函館のソウルビートと言っても過言ではありません。

「函館港まつり」の恒例行事で、道路を踊りながら練り歩く「ワッショイはこだて」での函館イカ踊りの様子。市内の企業や団体などが参加し、車に搭載のスピーカーから流れる大音量に合わせて元気な踊りを披露して、コンテストでの順位を競います。沿道を埋め尽くす市民だけでなく、市外の見物客までもが次々と飛び入りで参加。全身を使って踊る乱舞がどんどん大きな輪に広がっていくさまは、俗に「群舞」と称されます。